

2026年3月5日の記事

【活動日誌296】キリン「長次郎」に関する取材に対応しました

現在博物館では、書籍『キリンが来た道 麒麟児 長次郎の歩み』の出版に向けた準備を進めています。本書は当館所蔵のキリン「長次郎」の骨格標本に関する話題を中心にしつつ、2024年に開催したイベント「キリン講話会」にてご講演くださった先生方に様々な角度からキリンについて語っていただいたもので、2026年3月の発売を予定しています。先日は、本の出版を知った読売新聞の方が取材に来てくださいました。

取材には、当館学芸員の石井だけでなく、長次郎の名前の判明に携わり書籍に寄稿もしている本学の大学院生と、出版社で編集を担当してくださった方も協力してくださいました。改めて石井から長次郎の歩んできた歴史を紹介したほか、それぞれの立場から書籍に込めた思いをお伝えしました。

読売新聞の記事は3月1日の都内版にて掲載され、読売新聞オンラインでも読むことが可能です。興味のある方は下記のリンク先にお進みください。

(学芸員 石井)

#キリン #長次郎 #日本獣医生命科学大学 #博物館

■ 獣医生命大に保管の標本、上野生まれのキリン「長次郎」と判明 3月に本も出版

<https://www.yomiuri.co.jp/pluralphoto/20260228-GYTNI00218/>

読売新聞の記事はこちら

■【お知らせ】『キリンが来た道 麒麟児 長次郎の歩み』発売決定！

<https://www.facebook.com/nvlu.wildlife.museum/posts/pfbid07h34soePEKGPheA6eVjtMW4XKPgTACBPDnQoe4KAb3N6rfYdkm2TMcyZpZEdracrl>

書籍の詳細はこちらをご覧ください

2026年3月5日の記事



- ① 取材の様子①: 手に持っているのは『麒麟が来た道 麒麟児 長次郎の歩み』の束見本(つかみほん)にデザインされたカバーを巻いたものです
- ② 取材の様子②: 長次郎が展示されていた場所をご見学いただきました
- ③ 取材の様子③: 現在ミニ展示にて公開している長次郎の頭蓋骨を御覧いただきました

※【会期延長】ミニ展示「長次郎の再出発」開催中！

<https://www.nvlu.ac.jp/universityi.../news/20250602-02.html/>

ミニ展示の詳細はこちら

【活動日誌297】企画展の準備を進めています2

2月26日の記事でもご報告した通り、日々企画展の準備を進めています。先日は展示資料の一つである「獣医極(じゅういきゅう)」の中身を再確認し、どのように陳列するのか検討しました。

獣医極や獣医行李は陸軍の獣医官が戦地に出征する際に携行したもので、大型のトランクのような入れ物に馬の治療に必要な機材や薬品が収められています。本学同窓会は2組4点の獣医極(獣医極第1号・第2号/防疫獣医極第2号・第3号)を所有しており、企画展では当館に移管される予定の資料の一つとしてこれらの獣医極を展示いたします。

獣医極第1号・第2号の場合、1組の中に軍馬200頭に対する1ヶ月分の病気、1会戦分の戦傷に対応するための様々な物品が収められています。スペースの都合により全ての中身を紹介することはできないのですが、企画展では中身の一部をケースに並べて公開する予定です。

企画展は3月14日のオープンキャンパスにあわせて開始することを予定しており、急ピッチで準備を進めています。

オープンキャンパス当日は10:00～15:00(最終入館14:30)で開館しており、どなたでも自由にご見学いただけます。なお当日は学芸員による特別解説(事前申込み制)も予定していますが、こちらはすでに満席の回もあるようです。興味のある方はお早めにお申し込みください。

(学芸員 石井)

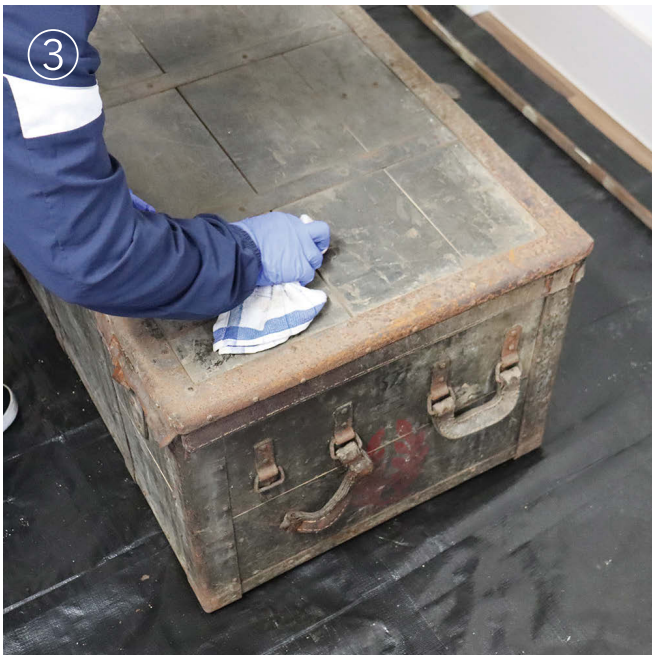
#驚異の部屋 #オープンキャンパス #日本獣医生命科学大学 #博物館

■オープンキャンパス付属博物館自由見学

<https://www.facebook.com/events/2086155585483797/permalink/2086155592150463>

オープンキャンパスにあわせた特別開館の詳細はこちら

2026年3月7日の記事



- ① 獣医極の中身
- ② 展示ケースの大きさを模した板の上に資料を並べ、配置を検討しました
- ③ 箱の表面に書かれた「獣医極」の文字が良く見えるように丁寧に清掃しました

【活動日誌298】スナメリ標本の調査とクリーニング

博物館の展示室がある一号棟には階段が2つありますが、そのうち南側の階段を上った2階部分には、以前キリンの長次郎の全身骨格標本が置かれていました。これまでに何度か紹介したように長次郎は2025年1月に解体して現在は別の場所で骨を保管していますが、実は長次郎の横に、もう一つ骨格標本が置かれていました。それが東京湾の沿岸部で死んでしまったスナメリの全身骨格標本です。

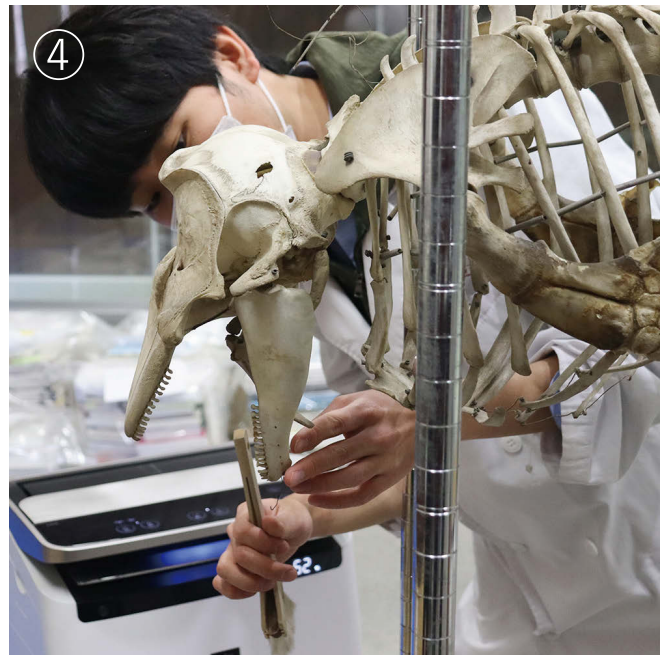
長次郎と同様にこちらの標本も本学の獣医学科解剖学教室が管理していた骨格標本ですが、当館に移管され、現在は当館の標本となっています。スナメリはアジアの浅海域に分布するイルカの仲間ですが、近年個体数が減少し、IUCNレッドリストでは絶滅危惧IB類(EN)に指定されているため、大変貴重な標本です。

長次郎と同じく環境的に直射日光が当たる場所での長期間の展示により標本の劣化が心配されたため、今回取り外して良い環境下で保管するとともに、状態の調査を行うことにしました。ホコリをはらうドライクリーニングを行った後に標本を観察したところ、胸骨の形状からこの標本が雄であることが今回初めてわかりました。また尾の部分の椎骨の下にあるV字骨の一部で骨が割れて固定が不安定になっていること、舌骨や下顎骨も不安定な状態になっていることがわかりました。そのため、不安定な状態の骨については取り外して保管することとしました。

こちらの標本については骨の組み立ての誤りなども見つかっているため、今後組み立てのやり直しを行うかを検討するとともに、適切な機会に展示に活かしていきたいと考えています。

(学芸員 廣瀬)

#スナメリ #イルカ #骨格標本 #日本獣医生命科学大学 #博物館



- ① 展示されていたスナメリ。天井から2か所をつられた形で展示されていました。
- ② 標本を取り外す様子。
- ③ クリーニングと状態の確認を行うために、メタルラックに吊り下げました。
- ④ ドライクリーニング後に骨の状態を観察している様子。

【活動日誌299】第2回企画展本日より開始です

イベントページでもご紹介しているように、本日は本学のオープンキャンパスが開催されています。これに合わせて博物館も特別開館しています。今回は例年以上に多くの方が3月のオープンキャンパスに参加してくださっているようで、11時頃からは館内もいつも以上の大賑わいです。博物館の概要や現在の展示についてご紹介する特別解説も2回行い、あわせて60名ほどの方にご参加いただきました。

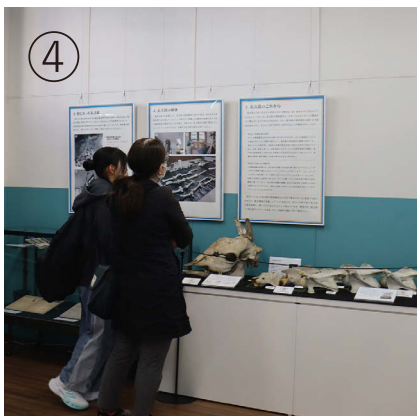
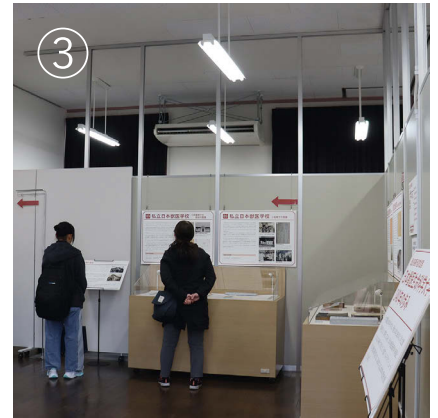
1月から本格的な準備を進めてこれまで何度かご紹介してきた第2回企画展「日獣大驚異の部屋」の展示が本日より開始となりました。企画展では今回10周年記念展示ということもあり、ハンズオンの展示もいつも以上にご用意しており、熱心に見てくださっていらっしゃる方が多いようです。

早速企画展を見たいという方もいらっしゃるかもしれませんが、本日はオープンキャンパスにあわせた特別展示なので普段より開館時間が短くなっており、最終入館が14:30になりますのでご注意ください。

皆様のご来館をお待ちしています。

(学芸員 廣瀬)

#日本獣医生命科学大学 #博物館 #オープンキャンパス



- ① 特別解説の様子。本日から始まった第2回企画展の展示の見どころについてご説明しました。
- ② 第2回企画展の様子
- ③ 歴史系展示室常設展の様子
- ④ 1F定期交換展示室のミニ展示「長次郎の再出発」の様子。頸椎のクリーニングが無事終わり、展示室での再展示が行われています。

【活動日誌300】ザンビアの大学から研究者の方が来館されました

先日、帝京大学薬学部環境衛生学研究室の山本秀樹先生のご紹介で、ザンビアの総合大学であるコッパーベルト大学(Copperbelt University)の副学長ハンゴンベ先生(Bernard M. Hang'ombe, BVM, MSc, PhD)が来館され、スタッフが館内を案内しました。

ハンゴンベ先生は獣医師でもあることから、自然系展示室にて展示している身近な野生動物の剥製をご覧いただいたほか、キリン「長次郎」の骨格標本を紹介しました。また、歴史系展示室では本学の歴史を紹介し、本学が最も古い私立の獣医大学であり1881年に設置されたことを伝えると、1964年のザンビア独立よりも本学の歴史が古いことにとっても驚かれていました。

当館では、希望された方を対象に英語版の簡易リーフレットと自然系展示室で展示している標本の和名・英名・学名のリストをお渡ししています。館内の英語対応についてはまだ不十分な部分もありますが、必要な方はスタッフまでお声がけください。

(学芸員 石井)

日本獣医生命科学大学 # 博物館



- ① 自然系展示室での解説の様子
- ② 自然系展示室で開催中の企画展「日獣大 驚異の部屋」についても解説を行いました
- ③ 企画展にて展示中の昭和16年に学生が描いた解剖スケッチを興味深そうにご覧になっていました